

新除草・調節剤

サイプロミッド

CYPROMID乳剤・水和剤

(取扱メーカー)東陽通商株式会社

日本曹達株式会社

対象作物；麦（水稻刈取後）

性状・作用特性；本剤は米国ガルフ・オイル社で開発された非選択性接触型除草剤で、有効成分は3,4'-ジクロロシクロプロパンカーボキシニリドであり、水和剤は50%に、乳剤は24%に製剤されている。理化学的性質としては、分子量280.1、融点は131℃である。

雑草の莖葉に直接散布することによって、1年生イネ科および広葉雑草を枯死させる莖葉処理剤である。多年生雑草は、地上部はよく枯れるが再生する。土壌中での移動は少なく、かつ

すみやかに分解するので、作物に対する薬害はほとんど認められない。

人畜魚毒性は低く、安全に使用できる。ラッテ急性経口毒性 LD50=2,000 mg/Kg, 魚毒性については メダカ, 48時間 TLm=7.6 ppm, コイ稚魚, 48時間 TLm=10.0 ppm以上

使用方法；今回実用化が認められたのは、水稻刈取後麦播種前雑草処理である。使用時期は、スズメノテッポウ2～3葉期に10アール当り50%水和剤製品で400～600gを、24%乳剤製品で800～1,250gを各々50～100ℓの水に希釈して、均一に散布する。

使用上の注意；生育の進んだ雑草には薬量を増すこと。また、ヒメムカシヨモギが多く発生する地帯での散布は、さけることが望ましい。

編集後記

今年は酉どし。農業にしろ、工業にしろ、商業にしても、鳥が飛び立つ勢いで、大いに業績が伸びるに違いない。

たしかに、今年の冬は平年に比べて、かなり暖かい日が続く。そのためか、庭の片すみに生えている雑草も、なかなか勢いがよい。酉どしにちなんだわけでもあるまいが、この分だと今年は雑草とのたたかいが、かなり活発になるのではないだろうか。そこで、除草剤の活躍が待望されるわけで、除草剤普及関係者の活躍を大いに期待します。

ところで、昨年、除草剤利用開発二十年記念行事を行ないましたが、その際、記念講演された科学技術庁科学審議官 石倉秀次先生にお願

いし、本誌を飾らせていただくことができました。なお、「除草剤二十年記念を顧みて」と題し、この行事について本誌に掲載する予定でありましたが、紙数の都合により、次号に譲ることになりましたので、ご了承下さい。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都港区芝西久保桜川町26番地

電話 東京(03)502-4188～9番

昭和44年1月発行

植調第2巻第6号 ¥70(送料35)

編集人 日本植物調節剤研究協会会長 河田 党

発行人 植調編集印刷事務所 田口 宏

東京都豊島区池袋7丁目2040番地

発行所 植調編集印刷事務所

電話 (986) 1063番